情報を守るセキュリティ対策　第3回　「ウイルスって何？」

**発行所 / わかば市　デジタル推進課**

**発行責任者 / 竹内　浩二**

ネット社会に潜む危険

今や、パソコンを使っていてインターネットを使わない人はいないぐらい、インターネットの利用は欠かせないものでしょう。あなたも調べものにWebサイトを使ったり、友人との連絡にメールを使ったり、便利なフリーソフトをダウンロードしたりと、インターネットをフル活用しているのではないでしょうか。

ですが待ってください。そこに危険な落とし穴はないでしょうか。

Webuサイトやﾒｰﾙを閲覧しただけでウィルスに感染しているかもしれません！

今回は、そのウイルスについて考えてみましょう。

ウイルスはどこからやって来る？

そもそも「ウイルス」とは何でしょうか。また、どのようにパソコンに侵入してくるのでしょうか。ウイルスの多くはメールに添付される形で送信されてきます。そのほかにもいろいろな侵入経路があります。まずはウイルスの定義を確認し、続いて侵入経路を見ていきましょう。

**●ウイルスとは何か**

ウイルスとは、ユーザーが知らない間にパソコンに侵入し、パソコン内のデータを破壊したり、ほかのパソコンに増殖したりする機能を持つ悪意のあるプログラムの総称です。ファイル感染型、トロイの木馬型、ワーム型、ボット（BOT）型、マクロウイルスなど様々な種類があります。

**●ウイルスの感染経路の種類**

|  |  |
| --- | --- |
| メールからの感染 | メールにウイルスが添付されて送信されてきます。この添付ファイルを開くことでウィルスに感染します。HTML形式のウイルスメールの場合、メールを開いただけで感染することもあります。 |
| Webサイトからの感染 | Webサイト内のリンクをクリックすると感染するようなWebサイトや、Webサイトを開いただけでウイルスに感染するような悪質なWebサイトがあります。 |
| インターネットからダウンロードしたファイルからの感染 | 悪意のあるユーザーが偽ってウイルスをインターネット上に公開してることがあります。ウイルスと気付かずにリンクをクリックしたり、ファイルをダウンロードしたりすることでウイルスに感染します。 |
| USBメモリなどの移動メディアからの感染 | USBメモリーや外付けハードディスクなどの移動メディアに保存しているファイルがウイルスに感染している場合、そのファイルをパソコンにコピーすることでウイルスに感染します。  また、USBメモリー自体がウイルスに感染している場合、USBメモリーをパソコンに接続しただけでウイルスに感染することがあります。 |

●市民セミナーのご案内●

F&M情報専門学校の丸山信一郎先生を講師に招いて、情報漏えいとセキュリティーに関する市民セミナーを開催します。

日常の様々な場面で起こり得るセキュリティ対策の問題について、わかりやすく解説していただきます。事例の動画も見れます。

タイトル：情報化社会を生きるためのセキュリティ対策

日時：12月3日（土）　13：00～14：30

場所：わかば市役所3階Conference Room

対象：一般の方